



おわりに

今後本冊子に対する皆様方のご意見やご提案をお寄せいただき、平成8年12月頃までに「第9次治水事業五箇年計画」の政府原案を決定し、平成8年度末には確定していく予定ですので、皆様方のご理解とご支援をお願い致します。最後に、本冊子を取りまとめるに際し、ご意見やご提案をいただいた多くの方々にご心より感謝申し上げます。

建設省天竜川上流工事事務所

〒399-41 駒ヶ根市上穂南7-10 ☎0265-81-6415

建設省浜松工事事務所

〒430 浜松市名塚町266 ☎053-466-0111

建設省三峰川総合開発工事事務所

〒396-04 長野県上伊那郡長谷村大字溝口1527 ☎0265-98-2921

建設省天竜川ダム統合管理事務所

〒399-38 長野県上伊那郡中川村大字6884-19 ☎0265-88-3025

長野県

〒380 長野市大字南長野字幡下692-2 ☎0262-35-7310

静岡県

〒420 静岡市道手町9-6 ☎054-221-3037

愛知県

〒460 名古屋市中区三の丸3-1-2 ☎052-951-1213



人と自然と天竜川あたらしい未来のはじまりです。



安全で快適な流域圏の創出
アルプスが育む自然豊かな天竜川をめざして

はじめに

建設省天竜川上流工事事務所、浜松工事事務所、三峰川総合開発工事事務所、天竜川ダム統合管理事務所、長野県、静岡県及び愛知県では、治水事業五箇年計画（現行は第8次で、計画期間は平成4年度から平成8年度）を来年度に改訂するにあたり、地域に開かれた計画づくりをめざして世論を幅広く取り入れながら、新たな計画の策定作業を進めています。

この一環として、天竜川流域においても60名を超える有識者の方々や50市町村の首長の方々からの個別インタビューでの意見、15のサミット、懇談会での意見、並びに39,006名にも及ぶ地域の方々からのアンケートによる意見など、膨大な数のご意見をいただき「安全で快適な流域圏の創出：アルプスが育む自然豊かな天竜川をめざして」としてとりまとめ平成8年4月12日に公表しました。

このたび、この川づくりの素案に対する地域の方々のご意見やご提案を基に、天竜川水系における第9次治水事業五箇年計画案をとりまとめました。

今後、皆様方よりご意見やご提案をお寄せいただき、第9次治水事業五箇年計画にてできる限り反映させていただきたいと考えていますので、皆様方からのご理解、ご支援をお願い致します。

平成8年7月



天竜川プロフィール

天竜川の水源地は諏訪湖です。ここから、中央アルプスと南アルプスにはさまれた伊那谷を南に下り、さらに奥三河、北彦の山岳地帯を通り遠州平野に至り太平洋に注ぐ天竜川は、わが国でも有名な急流河川です。天竜川流域は、糸魚川—静岡構造線、中央構造線をはじめとする数々の構造線や断層が走っていることに加えて、険しい地形のため山が崩れやすく、洪水のたびに流れ出る土砂の量も膨大、過去に多くの災害に見まわれ、「暴れ天竜」として沿川の人々に恐れられてきました。かつて天竜川は、生活物資や木材などを運ぶために利用されてきましたが、現在は、農業、工業、上水道あるいは発電に利用されています。今も昔も、わたしたちの暮らしに恵みを与えてくれ、流域の歴史と文化を育てている母なる川です。



- ① 糸魚川—静岡構造線
- ② 中央構造線
- ③ 釜口水門
- ④ 伊北地区
- ⑤ 宮が瀬
- ⑥ 川路・龍江・竜丘地区
- ⑦ 姑射橋
- ⑧ 中瀬村上島

事業の「これまで」と「いま」

諏訪地区



【これまで】

諏訪湖は昔から氾らんをくり返していたことから、江戸時代より、諏訪湖から天竜川へ流れ出る狭くなったところ(現在の釜口水門^{かまぐちすいもん}の位置)を拡げたり、深く掘ったりする工事と天竜川の川底を掘り下げる工事が行われてきました。昭和7年から河川改修事業がはじまり、昭和11年には釜口水門を建設。しかし昭和36年の洪水により約2,600戸の浸水被害が出たことから、同年に新たな事業がスタート。昭和63年には新しい釜口水門が完成しました。

【いま】

現在、昭和63年に新しい釜口水門が完成したのに伴い、諏訪湖沿岸の水害を防ぐために、諏訪湖に流

入する河川の改修と、土砂による災害を防ぐ砂防^①事業を進めています。アオコが発生する諏訪湖の水をきれいにするためのしゅんせつ(川底や湖の底を掘ること)を、昭和44年から実施。「泳げる諏訪湖」をめざして、よりきれいな水質の実現が望まれています。また、コンクリートで固めてきた諏訪湖の湖岸を、かつてのように人々が集うことのできる、うるおいのあるものとするために、平成7年より河川再生事業がスタート。水生植物にあふれた「なぎさ」を創造することで、水をきれいにし、人々に安らぎ感を広げます。

①砂防とは一山の崩落などは、雨によって崩れ落ちる川に土砂を流し込みます。川は、自ら岸や川の底を削って土砂を運びます。大雨が降ると土砂の量がたいへん多くなる場合があります。この土砂により人の命が奪われたり、財産を失ったりします。土砂の量を少しでも防ごうとするのが砂防です。

上伊那・下伊那地区



【これまで】

上伊那・下伊那地区では、国による砂防事業は昭和12年から、河川改修事業は昭和22年からスタート。河川改修事業は、高さや幅が不足している堤防の補強や、洪水の時に水が強くあたる部分の補強を重点的に行ってきました。また、三峰川流域では、戦後もまもなく洪水被害から守る治水、農業用水や発電などを目的とした「三峰川総合開発事業」が長野県によって計画が作られ、昭和26年に実施計画調査に入り、昭和27年度に事業をはじめ、昭和33年度に完了しました。この事業で、美和ダム(建設省)と高遠ダム(長野県)が造られました。

その後、昭和36年6月の梅雨前線豪雨により、大雪山の大崩壊による死者・行方不明者42名をはじめとして、昭和36年の6月災害全体で死者・行方不明者130名にのぼる大惨事をもたらした。これをきっかけに、より安全な川づくりを進める河川改修事業や砂防事業、小沢ダムの築造や戸草ダムなどの新たなダム計画が進められてきました。

【いま】

飯伊地域の中心として今後の大きな発展が期待されている飯田市の川路・龍江・竜丘^{りゅうきゅう}地区が、洪水災害のない安全な地区となるように、平成4年より川幅を広げ

るとともに、約100ヘクタールの土地に昭和58年の洪水(戦後で最大の水量が流れた洪水)を安全に流す高さまで土を盛るなどの事業を行っています。また、辰野町から南其輪村の約14キロの伊北地区では、その上流にある諏訪湖の釜口水門の改築にともない、水門から放流する水量に見合うだけの大きさの川にするために堤防をつくったり橋や堰などの構造物の改築に力を入れています。昭和33年度に完成した美和ダムには、大雨のたびにたくさんの土砂が流れ込んでいるため、ダムの役目が小さくなっていくことが心配されることから、ダム湖内にたまった土砂の搬出と流れ込む土砂の一部を、洪水といっしょに下流へ流すトンネルを掘る美和ダム再開発事業と戸草ダムを建設する事業と合わせた「三峰川総合開発事業」を進めています。一方近年では、自然石いっばいの護岸(河岸または堤防を、流水による浸食から守るために表面をコンクリートや石などでおおうこと)、木材や石などを用いた昔ながらの伝統工法を採用して、情緒あふれる水辺づくりを実施し、よりよい河川環境づくりを進めています。また、砂防事業においても、荒川崩壊地、百間ナギなどからの大量な土砂の流出防止対策や土石流対策により、昭和36年の6月災害のような土砂災害再発防止をめざすとともに、生態系、親水性に配慮した施設をつくっています。

遠州・三河地区



【これまで】

遠州・三河地区の改修は、明治初年頃より金原明善^{きんわらあきよし}を中心に行われてきましたが、明治18年に第1次改修、昭和2年に第2次改修が国により直接はじめられました。堤防づくり、護岸や洪水の勢いを弱めるための水制(洪水の流れが河岸や護岸にぶつかっても、壊れることのないコンクリートブロックなど河岸から川の中に直角に突き出させたもの)づくりを行いました。また、高島橋下流の中瀬村上島(現洪北市)の締め切り(川をせき止めること)、さらに東海道線より下流の派川(1つの川から常にあるいとはときおり水が流入する別の川)締め切りなどの大きな改修工事を行いました。

【いま】

これまでの改修事業を続け、いまでも堤防のない箇所^{ところ}の堤防づくりや弱い堤防の補強、洪水の時に水が強くあたる部分の護岸、堤防や岸辺にあたる洪水の勢いを弱める水制の整備を中心に、改修事業を行っています。特に下流部では川の乱流がはげしいため、災害をひきおこすことが心配されています。このため、よりいっせうの洪水に対する安全度を高めるとともに、浜松市を中心とした地域の暮らしと産業を支えるため、今後とも引き続き、堤防づくりや護岸の整備が必要になっています。

21世紀の社会を展望して、天竜川に望むこと

21世紀の社会を展望した川づくりをめざすにあたって、流域のみなさまをはじめとする、より多くの方々からご意見やご要望をいただくために、サミット・懇談会などや、有識者の方々、市町村長の方々からのご意見をあわせて集計しました。

これらの方法で集めさせていただいた

主なご意見をまとめると、

- ①洪水や土石流に対する安全へのご要望、
 - ②地域の活性化へのご要望、
 - ③美しい自然との共生へのご要望、
 - ④流域文化の育成や住民参加の河川行政へのご要望、
 - ⑤今後の河川行政の展開へのご要望
- …の5つに、大きく分けることができました。

以下に、この5つの項目ごとに

いただいた主なご意見をまとめてみました。



◆アンケートによるご意見の集約

平成7年7月から10月までの4か月間に、諏訪地区、上伊那地区、下伊那地区の天竜川流域の長野県内全戸(約22万戸)に、新聞折り込みでアンケート用紙を配るとともに、諏訪地区から遠州・三河地区までの天竜川全域でくり広げられた「天竜川ゆめの一と」の祭りやイベント会場で、約8万枚のアンケート用紙を配って行いました。その結果、39,006名という多くのみなさまから、貴重なご意見をいただくことができました。

◆サミット・懇談会などでのご意見の集約

平成7年8月から平成8年3月までの8か月間に、15のサミット・懇談会などを開き、自然愛護団体、カヌークラブ、自治会、婦人会、老人クラブ、農業協同組合、漁業協同組合、森林組合、観光協会、青年会議所、商工会、商工会議所などの方々約220名からご意見をいただきました。

◆有識者の方々からのご意見の集約

平成6年7月から12月までの6か月間に、学校・教育関係、医療関係、マスコミ関係、自然愛護団体、各種団体の役員などの方々や芸術家、郷土史家などの方々約65名に、直接インタビューをさせていただき、ご意見をいただきました。



◆市町村長の方々からのご意見の集約

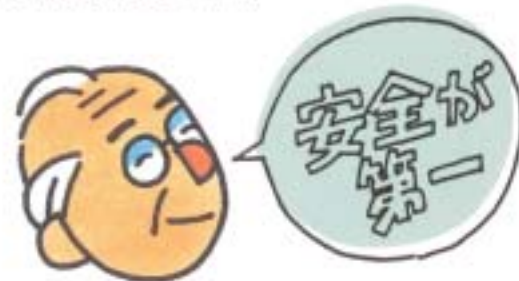
平成7年9月から10月までの2か月間に、天竜川流域内50市町村長の方々に、直接インタビューをさせていただき、ご意見をいただきました。

●みなさまからのご要望

定事業(水が低いときに流れる河川の部分を護岸などで固定する工事)は良い方法だと思ふ。
 ・上流はダム群によって土砂が止まったが、海岸では侵食されている。土砂の安定を考えたら、構造を含めた砂防ダムの配置計画をもつべきだ。



・上流部の山が荒れてきており、川に石やゴミなどがたまって川底が上がるなど影響が現れている。山林の環境を守り、総合的な河川管理が必要だと思ふ。



- ・支川の土砂泥らんも含めた災害危険区域図を作ってほしい。災害情報の積極的な公開も望む。
- ・濁水や洪水に対応できるシステムの整備が必要だ。
- ・砂防ダムは、土砂調節とともに下流へもっと土砂を流すことも必要では？

2 もっと個性的な天竜川を

地域の活性化へのご要望

- ・昔の天竜川は、わたしたちの日常生活に密着していた。現在では、治水上の安全性が保たれてきたことと引き換えに、親しみが薄れているように思う。
- ・現在の堤防は、角度がきつくて川に人が自由に入れない。川とふれあえる安全な堤防にしてほしい。
- ・天竜川の整備にあたり次の提案をします。①散歩ができるように、堤防沿い・水辺沿いに遊歩道を作る。②キャンプやバーベキューのできる広場を作る。③水遊びなどができる水辺を創る。④魚が棲み、釣りの楽しめる場所を作る。⑤天竜市から河口までの舟下りができるようにする。



- ・現在の桜並木をそのまま生かしてほしい。
- ・天竜川の舟下りは、飯田観光のハイライト。この舟下りがより楽しいものになるよう、護岸を整え、水が少なくならないよう、また水質も良くなるようにしてほしい。
- ・お年寄りや何らかの障害をもつ人たちなど、誰もが安心して自然にふれられるような施設を望みます。
- ・川に関連した独自のテーマを地域ごとに設定し、博物館や水族館などを作るのはどうでしょうか。



3 もっと自然美あふれる天竜川を

美しい自然との共生へのご要望

- ・現在の天竜川は、子供たちが遊ぶことができないほど汚れている。現状を一人ひとりがよく見つめ直し、きれいな川にしていきたい。よみがえれ/昔の天竜川。
- ・渓流釣りなどが楽しめるような魚道をつくるなど、生き物にやさしく。
- ・昔の棚、泥舟、水郷などの風情ある水辺風景を取り戻したい。
- ・諏訪湖のアオコを除き、泳げる諏訪湖、天竜川にしてほしい。
- ・ホテルを復活させたい。コンクリート水路でも工夫次第で水生生物がすめるそうです。
- ・護岸工事のコンクリートにより、安らぎや親近感が薄れてきている。木や石などを利用してほしい。
- ・宮ヶ瀬から放射橋までの間に湧水池が14か所ある。この20年間に休止した湧水池は10か所ある。この湧水池を利用して、ビオトープ(生物の生息空間)造りに取り組み、野鳥のすめる森や魚のすめる場所になりたい。



- ・緑化は、外来種ではなくその土地の植物(在来種)を植えることが望ましい。
- ・カジカやアユなどの小魚が棲みやすいように、ヨシ、アシなどの植物が茂る岸辺にしてほしい。



- ・貴重種のクダサキヤマジノギクが生育している場所があります。今後の工事にあたってはこれに注意してほしい。
- ・天竜川の生態系は、発電ダムでこわされている。水の量と魚の通り道にも注意を払ってほしい。



長野県上伊那郡富田村

- ・水辺の鳥の保護や観察・案内の施設を作ってほしい。

1 もっと安全な天竜川を

洪水や土石流に対する安全へのご要望

- ・自然災害が心配です。洪水・土石流がおきないような安全対策を、一番に実施してほしい。
- ・自然環境をこわさない治水事業を行ってほしい。
- ・天竜川はダムで安定している一方で、川底が下がり中小規模の洪水が起きたときに乱流をおこす。その対策として、低水路図

4 もっと親しめる整備を

流域文化の育成や住民参加の河川行政へのご要望

・最近の人々は川の大切さを忘れている。小学生にダムの見学をさせてはどうか。



- ・川沿いの史跡などを活かした河川整備を進めることで、河川への親しみや理解が広がると思う。
- ・河川を利用している人たちで意見交換や調整を行い、全体として天竜川のあり方を考えていくべきだ。
- ・天竜川をベースとした新しい交流のあり方として、「天竜川コリドール構想(回廊、天竜川を中心とした新しい地域のつながり)」を提案したい。
- ・天竜川の大切さをテーマに、映画やビデオを制作し、学校関係に配ったらどうか。メディアを使ったPRが必要だと思う。
- ・地元広報誌の活用やパンフレットの配布などでの情報の提供をお願いします。



5 もっと総合的な整備展開を

今後の河川行政の展開へのご要望

- ・地元広報誌の活用やパンフレットの配布などでの情報提供をお願いします。
- ・建設省だけでなく、林野庁とも十分に調整をして、砂防、治山工事を進めてほしい。
- ・堤防の草刈りの回数や時期を増やしてほしい。残したい花も刈ってしまうことがあるので気を付けてほしい。
- ・省庁の縦割りを打ち破り、水の問題を総合的に研究する「環境研究所」の設立を。



21世紀の 社会を展望した、川づくり

みなさまからのご意見を参考に、以下の4つのテーマを柱として、21世紀の社会を展望した川づくりを進めていきます。

また、今後の河川行政の展開について、みなさまからいただいた貴重なご意見やご要望は、日常の河川行政の参考にまいります。



◇地域住民に対する安全・安心の提供

災害を防止し、安心できる護岸の整備、大きな災害時の人命保護と安全で確実な施設管理の実現をめざします。

◇地域活性化への寄与

河川沿いの土地区画整備事業などの地域づくりと一体となった「水辺のまちづくり」の手助け、地方拠点都市地域整備事業^{※1)}などのいろいろなプロジェクトの手助けやダム貯水池にたまった土砂を利用するなど、河川資源の有効利用をめざします。

◇美しい自然との共生

「泳げる諏訪湖」、「水遊びのできる天竜川」をめざし、生き物にやさしい川づくりをすすめること、生き物にやさしく、人が水に親しめる場としての三峰川をモデル的に整備する三峰川サンクチュアリ創造事業なども進めます。

◇天竜川を舞台とする流域文化の交流

文化の交流、上流と下流の交流、地域の支援のため、天竜川に沿って水辺に親しむ場所を整備する天竜川ゆめの一と事業と住民参加の河川行政の展開をめざします。

※1) 地方拠点都市地域整備事業とは…地域の創意工夫を生かして河川、下水道、公園、道路などの整備を進め、より快適で暮らしやすいまちづくりを行うもの。

To you ●行政からのご提案

1 災害を防止し 防災システムを確立します

地域住民に対する安全・安心の提供

・伊那谷災害や諏訪浸水災害などが再び起こらないようにするため、堤防や砂防の整備を行い、洪水時に流れの妨げとなる橋など川を横切るものを作り直します。また、ダム貯水池の土砂を除去するなどして、よりいっそう洪水を調節します。



・洪水時に水が強く当たる部分の護岸や水制を整備し、安心できるようにします。



・予想をこえた災害が発生した場合にも、素早く人命救助が行えるように、災害情報、避難情報の提供、ネットワークの整備、防災ステーションの整備を行います。

・情報伝達システムづくりや拡充などにより、安全・確実な施設管理を実現します。



2 水辺空間を 有効利用します

地域活性化への寄与

・うるおいのある岸辺を作る桜づつみモデル事業を進めたり、堤防から水辺へ近づきやすくするなど、水辺のまちづくりを支援します。



桜づつみモデル事業イメージ

・地方拠点都市地域整備事業などの各種プロジェクトを支援します。



・河川資源の有効活用や、ダム貯水池にたまっている土砂の建設材料への利用や、堤防の斜面などからの刈り草を堆肥として利用するなど、河川資源の有効活用を進めます。また、ダムを核とした広域的まちづくりを推進支援していきます。



美和ダムの堆砂状況
(管理工事のための水位が低下しています)

3 人と自然にやさしい川づくりをすすめます

美しい自然との共生

- ・水をきれいにし、泳げる諏訪湖、水遊びのできる天竜川の再生をめざします。



- ・堰などに魚の通る道を作ったり、自然いっばいの護岸づくりなどを進め、生き物にやさしい川づくりを進めます。



生態系にやさしい



- ・生き物にやさしく、人が水に親しみやすい三峰川をモデルとして、高水敷(川の水面より、一段と高くなったところ)を計画的に整備してゆくと、三峰川サンクチュアリ創造事業などを進めます。
- ・ダムなどの水辺の癒し効果(ダムなどの水辺に行くと気分が良くなること)を生かし、人々が集い安らげる環境を創造するなどの工夫により、「人と地球に優しいダム」づくり(ウェルネスダム構想^{※2)})を進めます。

※2)ウェルネスダム構想とは一美和ダム再開発事業において、ダム湖内にたまっている湖などを農業や畜産などへの利用の実用化や水辺の癒し効果の研究と利用、地域の文化交流など、人と自然との共生をめざし、「人と地球に優しいダム」づくりを進めるもの。

4 住民参加の川づくりをめざします

天竜川を舞台とする流域文化の交流

- ・文化の交流、上流と下流の交流、地域の支援のため、カーブプラザなど、各市町村に1か所(約50か所)の拠点づくりを進めます。また、水辺を舞台に、地域と地域のコミュニケーションを深めるイベントを実施します。
- ・川づくりについて地域の方々から幅広くご意見やご提案を伺うため、住民参加の懇談会やサミットの設置・維持を行います。



- ・川を美しくする住民活動や河川美化・河川愛護活動を広めるイベントなどへの支援を充実します。



静岡県浜松市(ゆめるーとシンポ'95)

中期的視点からの 河川の整備目標と整備方針

21世紀初頭までに以下の方針に沿って河川、砂防、ダムなどの各事業を進め、次の整備目標を達成します。

1 21世紀初頭に向けた 各事業の整備目標

河川

河川の上下流や左右岸の整備バランスなどを考えながら、安全で親しむことのできる自然豊かな川づくりを次の整備目標をめざして進めます。

- ①昭和58年9月洪水(戦後で最大の流量が流れた洪水)に対して安全で自然豊かな川づくりを進めます。(天竜川上流)
- ②概ね30年に1回程度起こりえる洪水に対して安全で自然豊かな川づくりを進めます。(天竜川下流)
- ③河川整備率^{*4)}32%から45%に引き上げる自然豊かな川づくりを進めます。(長野県全体)
- ④1時間に50mm相当の降雨に対応する河川整備を推進します。(静岡県)



長野県飯田市(川路・堀江・竜丘地区)

砂防

土砂災害の防止、豊かな自然環境や生態系への配慮、地域の活性化や流域の文化交流を支援する砂防事業を次の整備目標をめざして進めます。

- ①壊滅的土砂災害であった昭和35年の6月災害など「伊那谷災

害」の再発防止と、自然に調和した渓流整備を行います。

(天竜川上流)

- ②土石流危険渓流着手率^{*5)}・^{*6)}を24%から35%に引き上げ、土砂災害に強いまちづくりをめざします。(長野県全体)



長野県下伊那郡大鹿村
(矢立木砂防ダム)

ダム

より安全で快適な潤いに満ちた活力あるまちづくりやダムを拠点とした流域の文化交流を支援するダム事業を次の整備目標をめざして進めます。

- ①三峰川総合開発事業(美和ダム再開発・戸草ダム)を完成させて安全で豊かな川づくりを進めます。(天竜川上流)
- ②「人と地球に優しいダム」づくりを基本理念とする人と自然との共生をめざします(ウェルネスダム構想)(天竜川上流)
- ③現在事業中の5ダム(下諏訪ダム(下諏訪町)、郷土沢ダム(豊丘村)、駒沢ダム(辰野町)、蓼科ダム(茅野市)、松川ダム再開発(飯田市))の完成をめざします。(長野県)

河川・砂防・ ダム共通

河川美化・河川愛護活動を広めるイベントや流域の文化交流を深めるイベントへの支援、懇談会、サミットなどによる住民参加の川づくりをさらに充実させます。

21世紀初頭に向けた 河川の整備方針

テーマ1

安心できる暮らしを支える川づくり

天竜川は「暴れ天竜」の異名を持つ急流河川であり、これまでに数々の被害を受けてきました。

このようなことから、洪水に対する安全性を確保していくため、洪水の時に水が強く当たる部分の護岸や水制の整備、また、計画断面に満たない高さや幅が不足している堤防の補強やダム、砂防施設などの整備を行い、地域住民の人命・資産を守ります。



長野県下伊那郡大鹿村
(昭和35年6月災害)

テーマ2

地域の活性化に寄与する川づくり

天竜川下流部は、関東、関西の中間に位置し、世界を脱んだ経済活動が活発に展開されています。その中でも、諸活動の中心となっている浜松市街地、浜北市街地をはじめとする沿川地域では、地域全体を支える基盤整備として、洪水を安全に流すために堤防のない地区の整備を進めます。



静岡県浜北市中瀬

天竜川上流部の川沿いの地域では、これまで地域の貴重な平地地として発展の中心となってきましたが、市街地の中心を天竜川が流れていることもあり、将来的にも天竜川を軸とした一層の発展が予想されます。このため、地方拠点都市地域整備事業や田園地域総合整備事業^{※7)}など地域のまちづくりを支援し、天竜川本川の洪水を安全に流し、安全で活力ある伊那谷の実現をめざします。

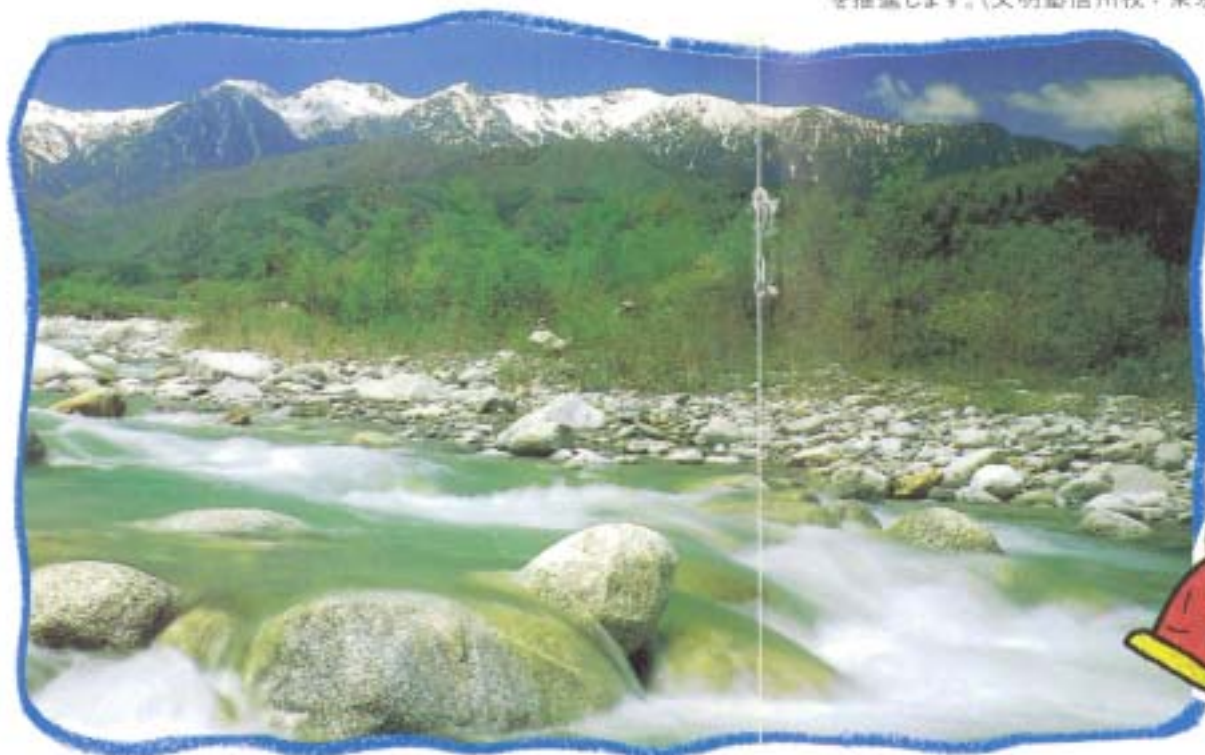


飯伊地方拠点都市地域整備アクションプログラム(長野県飯田市 天竜川地区)

テーマ3

豊かな自然を育む川づくり

天竜川沿川地域は、中央アルプスと南アルプスの両アルプスにはさまれた、生態系や景観など豊かな自然環境に恵まれた地域です。川づくりを進めるにあたっては、これらの自然環境の保全・再生や水質の改善にも十分配慮し、より親しまれる天竜川をめざします。また、自然環境にも配慮しながら水辺空間の利用など、天竜川環境管理基本計画^{※8)}と整合を図りながら、自然との共生をめざします。



長野県上伊那郡飯島町(与田川川)

テーマ4

流域の文化交流を支援する川づくり

天竜川流域においては、上流から下流に至るまで古くから塩の道と呼ばれた秋葉街道(国道152号)や天竜川を利用した舟運などにより、天竜川と密接な関係があり、沿川地域でさまざまな文化が形成されてきましたが、近年では鉄道や中央自動車道などの交通網の発達により貴重な文化が失われつつあります。

しかしながら、近年では流域の上流と下流の交流など、広域的な連



長野県下伊那郡飯島町(天竜川川下流部)

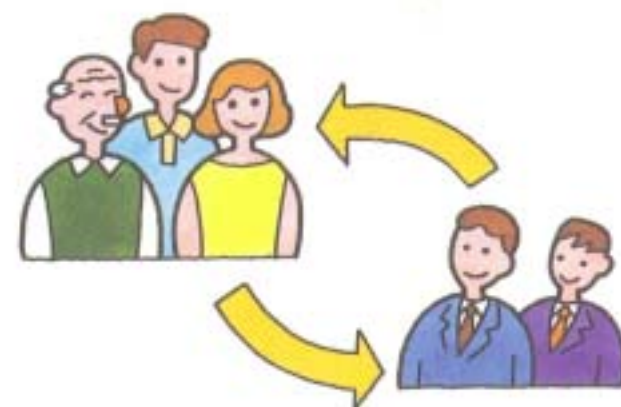
携活動により、文化芸術など幅広い交流が進められ、これらの活動を通じて河川美化や河川愛護などを啓蒙する活動が始まっています。

このため、これらの広域連携活動を支援するため、水辺利用に配慮したカヌープラザなどの拠点を堤防補強と合わせて整備します。また、日本の東西文化や歴史の結節点ともなっている天竜川流域の歴史や風土を生かし、市民主導による広域的な文化交流、連携を推進します。(文明塾信州校：東京、京都と連携した流域交流活動)

テーマ5

地域に開かれた川づくり

川づくりを進めるにあたっては、河川関連情報の提供、住民参加型の懇談会などの設置や各種アンケートとその結果を地域の方々にお知らせすることなどを繰り返し行うなど、地域の方々との双方向のコミュニケーションを実施することにより、地域の方々からのご意見やご提案を、計画や事業に反映するなど、地域に開かれた川づくりを推進します。



長野県駒ヶ根市(天竜川せせらぎサミット)



- ※4) 河川整備率は、長野県が管理している、県内一級河川延長の内の整備が必要な河川延長に対する、整備が進んでいる河川延長の割合。
- ※5) 土石流危険渓流率は、土石流により、災害をもたらす恐れのある渓流のこと。
- ※6) 土石流危険渓流改善率は、土石流による災害を防止するための工事を行っている渓流数の、行われていない渓流数に対する割合。
平成7年度末 土石流危険渓流数 3,403渓流、
改善率 24.1%
- ※7) 田園地域総合整備事業とは、地域の創生工夫を生かして河川、下水道、公園、遊歩道などの整備、定住基盤・生活環境・社会福祉施設の整備や商・工・農業の振興を進め、より快適で暮らしやすいまちづくりを行うもの。
- ※8) 天竜川環境管理基本計画とは、天竜川流域の豊かな自然環境の保全・再生を図りながら、安全で豊かな天竜川をめざして平成2年3月に流域市町村の総会で策定されたもの。

五箇年計画の概要

21世紀初頭の整備目標や方針をめざして川づくりを進めるほか、当面、平成9年度を初年度とする第9次治水事業五箇年計画内(平成13年(2001年)まで)には、次の整備目標と方針により川づくりを進めます。

整備目標と方針

河川

河川の上下流や左右岸の整備バランスなどを考えながら、安全で親しむことのできる自然豊かな川づくりを次の整備目標をめざして進めます。

- ①重要水防箇所^{※①}の堤防断面不足^{※②}延長61kmのうち約3km
水衝洗掘箇所^{※③}延長35kmのうち約8kmを
解消し、より安全な川にします。

(天竜川上流)

- ②水辺拠点(カヌープラザ、水辺の楽校など)を4箇所(駒ヶ根市、
豊丘村、下條村、阿南町)整備します。(天竜川上流)

- ③重要水防箇所の堤防高不足延長36kmのうち約1km
漏水^{※④}対策の必要な箇所の延長9kmのうち
約1kmを解消し、より安全な川にします。

(天竜川下流)

- ④河川整備率を32%から35%以上に引き上げ、安全で自然豊かな
川づくりをめざします。(長野県全体)



長野県上伊那郡飯野町
(三井瀬)

砂防

土砂災害の防止、豊かな自然環境や生態系への配慮、地域の活性化や流域の文化交流を支援する砂防事業を次の整備目標をめざして進めます。



- ①昭和36年の6月災害規模の土砂災害を防止するために、七重第2砂防ダム、飯島第5砂防ダムをはじめとするそれぞれの地域の基幹となる砂防ダムの完成をめざします。(天竜川上流)
- ②地域活性化の拠点づくりを支援するために大島河原ダム群などを完成させます。また、大河原流路工を促進します。
- ③赤坂砂防ダムへの魚道設置など、生態系にやさしい渓流づくりを行います。(天竜川上流)
- ④流域の交流拠点として、太田切川・与田切川・片桐松川流路工の促進を行います。(天竜川上流)
- ⑤土石流危険渓流着手率を24%から30%に引き上げ、土砂災害に強いまちづくりをめざします。(長野県全体)

ダム

より安全で快適な潤いに満ちた活力あるまちづくりやダムを拠点とした流域の文化交流を支援するダム事業を次の整備目標をめざして進めます。

①三峰川総合開発事業 美和ダム再開発事業

流れ込み続ける土砂の一部を下流に流すため、粒の小さい砂や泥と小石や砂を分ける分派堰、粒の小さい砂や泥を洪水といしょに下流に流すためのトンネル工事の完成をめざします。

また、ダム湖内にたまっている土砂を搬出し、围場整備(田んぼや畑の区画を整理すること)事業などといしょに進めます。

(天竜川上流)

■掘削

すでに貯水池にたまっている土砂は、水上・陸上より掘削します。



■恒久対策

将来流入してくる土砂は、貯水池上流部に堰をもうけ洪水をバイパスさせることで堆砂を抑制します。

②三峰川総合開発事業 戸草ダム建設事業

ダム本体を造るために必要となる、道路などの工事を進めるとともに、地質調査など工事に必要ないろいろな調査を進めます。

(天竜川上流)

③ウェルネスダム構想(美和ダム再開発事業)

「人と地球に優しいダム」づくりを基本理念に、ダム湖内にたまっている泥などを農業や畜産などへの利用の実用化や水辺の癒し効果の研究と利用、地域の文化交流など、人と自然との共生をめざし具体化を進めます。

(天竜川上流)

④現在実施中の5ダム(下諏訪ダム(下諏訪町)、郷土沢ダム(豊丘村)、駒沢ダム(辰野町)、夢科ダム、(茅野市)、松川ダム再開発(飯田市)の建設を促進します。

(長野県)

河川・砂防・ダム共通

河川美化・河川愛護活動を広めるイベントや流域の文化交流を深めるイベントへの支援、懇談会・サミットなどによる住民参加の川づくりをさらに充実させます。

①河川美化など住民活動への支援の充実

河川を美しくする住民活動や河川美化・河川愛護活動を広めるイベントなどへの支援を充実します。

②河川に関する啓蒙イベントなどへの支援の充実

「天竜川ゆるめーと」をはじめとする地域と地域のコミュニケーションを深めるイベントや、カヌーなど天竜川と親しむイベントなどへの支援を充実します。

③懇談会・サミットなどの充実

地域のオピニオンリーダーや有識者などの方々から、川づくりに対するご意見やご提案をいただくための15の懇談会・サミットなどを今後さらに充実させ実施していきます。

- ※9)重要水防箇所とは…堤防断面不足や水衝流線箇所などのうち、水防上、特に水防活動が必要とされるところ。
- ※10)堤防断面不足とは…現在の堤防の断面もしくは幅が、計画されている大きさに満たないところ。
- ※11)水衝流線箇所とは…川の流れにより、堤防の下側の部分が深く掘られてしまっているところのうち、その部分の堤防の機能を果たしていないところ。
- ※12)漏水とは…洪水時に河川水位が上昇することにより、河川水が堤防に浸透し、堤防斜面や内部より多量に湧き出すこと。



長野県辰野町から飯田市(天竜川水系環境とリノベーション)

主要プロジェクト

天竜川上流(河川・砂防・ダム)

No	プロジェクト名	河川名	県名	市町村名	整備目標			概要
					9次5年計	←→	21世紀初頭	
テーマ1 安心できる暮らしを支える川づくり								
①	川越・龍江・竜丘地区治水対策事業	天竜川	長野県	飯田市	完成			昭和58年9月洪水(戦後で最大の流量が流れた洪水)を流すことのできる堤防の整備を行い、背後地の有効利用を行います。
②	伊北地区改修事業	天竜川	長野県	長野市・箕輪町 高井村	完成			諏訪湖にある釜口水門からの放流水400㎓/secに見合った洪水が流れるよう、堤防の整備や橋梁、堰などの改修を行います。
③	三日町頭首工改修事業	天竜川	長野県	箕輪町	完成			洪水の安全な流れを阻害する堰の改修を堤防の整備とあわせて行います。
④	田島地区改修事業	天竜川	長野県	中川村	促進	促進	完成	昭和58年9月洪水(戦後で最大の流量が流れた洪水)を流すことのできる堤防の整備を行います。
⑤	松川・古町地区改修事業	天竜川	長野県	松川町	着手	促進	完成	昭和58年9月洪水(戦後で最大の流量が流れた洪水)を流すことのできる堤防の整備を行います。
⑥	支川合流処理事業	天竜川	長野県	伊那市	着手完成			支川の洪水が天竜川に安全に流れるよう、長野県と協同して堤防の整備を進めます。
⑦	水濁洗掘対策事業	天竜川	長野県	宮田村 駒ヶ根市 高島町 高遠町 高井村 高井町 高井町 高井町	着手完成			左記8市町村について、洪水の流れが強くなる部分の護岸を補強し、堤防の安全性を高めます。
⑧	小高第5砂防ダム	三峰川	長野県	長谷村	完成			小高川源頭部の重荒廃地対策として行います。
⑨	戸台第3砂防ダム	三峰川	長野県	長谷村	完成			仙丈岳、駒ヶ岳の重荒廃地対策として行います。
⑩	東ノ入沢砂防ダム	藤沢川	長野県	高遠町	完成			土石流対策として行います。
⑪	穂鹿沢第3砂防ダム	穂沢川	長野県	高遠町	完成			土石流対策として行います。
⑫	高川第4砂防ダム	太田切川	長野県	宮田村	促進	平成9年から 10年以内完成		駒ヶ岳の重荒廃地対策として行います。
⑬	中田切第4砂防ダム	中田切川	長野県	駒ヶ根市	完成			空木岳の重荒廃地対策として行います。
⑭	飯島第6砂防ダム	与田切川	長野県	飯島町	完成			百間ナギをはじめとする重荒廃地対策として行います。
⑮	掘塚沢砂防ダム	小渋川	長野県	中川村	完成			四徳川の荒廃地の整備を進め、田園地帯総合整備事業を支援します。
⑯	七釜第2砂防ダム	小渋川	長野県	大鹿村	促進	平成9年から 10年以内完成		赤石岳などの重荒廃地対策として行います。
⑰	鬼洞沢砂防ダム	遠山川	長野県	南信濃村	完成			長岳の重荒廃地対策として行います。
⑱	大河内砂防ダム	遠山川	長野県	天龍村	完成			大河内川の荒廃地対策を進め、地域活性化を支援します。
⑲	入谷地すべり対策事業	小渋川	長野県	大鹿村	促進	促進	促進	地すべりによる流域の大災害を防止します。
⑲	此田地すべり対策事業	遠山川	長野県	南信濃村	促進	促進	促進	地すべりによる流域の大災害を防止します。
⑲	三峰川総合開発事業	三峰川	長野県	長谷村	促進			洪水の防止、河川の水の潤い、都市用水の確保など天竜川上流域の人々の暮らしを支えます。
⑲	戸草ダム建設事業	三峰川	長野県	長谷村	促進			
⑲	三峰川総合開発事業	三峰川	長野県	長谷村	促進			ダムに堆積した土砂の除去と流入土砂発生対策(洪水パイロトンクイ)により、ダム本来の機能の維持と洪水防衛機能の向上とあわせて、河川の水の潤い、都市用水の確保など天竜川上流域の人々の暮らしを支えます。
⑲	美和ダム再開発事業	三峰川	長野県	高遠町	促進			
テーマ2 地域の活性化に寄与する川づくり								
⑲	水辺の拠点整備	天竜川	長野県	駒ヶ根市 上田市 下條村 岡谷町	促進 完成 着手完成			美しい風景をつくる程づみみや水辺と水辺に近づく岸などの整備により、水辺のまちづくりを支援します。
⑲	防災ステーション整備	天竜川	長野県	伊那市	着手	平成9年から 10年以内完成		洪水時には水防活動の基地やヘリポート、避難地として使用し、平常時にはレクリエーションなどの場として利用できる施設の整備を行います。
⑲	大河原流路工	小渋川	長野県	大鹿村	促進	促進	促進	大河原地域を土砂災害から守り地域活性化を支援します。
⑲	大島河原ダム群	遠山川	長野県	上村	完成			上村川の荒廃河川対策を行い、地域活性化を支援します。
⑲	押出沢砂防林	遠山川	長野県	南信濃村	促進	平成9年から 10年以内完成		土石流対策として樹木を活かした施設を整備し、福祉のまちづくりを支援します。
⑲	掘塚沢砂防ダム	(再掲)						
⑲	大河内砂防ダム	(再掲)						
⑲	三峰川総合開発事業 美和ダム再開発事業 (ウェルネスダム構想)	三峰川	長野県	長谷村 高遠町	促進			美和ダム再開発事業において、ダム湖内にたまっている泥などを農業や畜産などへの利用の実用化や水辺の癒し効果の研究と利用、地域の文化交流など、人と自然との共生をめざし「人と地球に優しいダム」づくりを進めます。
テーマ3 豊かな自然を育む川づくり								
⑲	水辺の拠点整備	(再掲)						
⑲	三峰川サンクチュアリ 新造事業	三峰川	長野県	伊那市 高遠町	着手	促進	完成	生き物に優しく、人が水に親しめる河川の整備を三峰川をモデルに実施します。
⑲	天竜川浄化事業	天竜川	長野県	箕輪町	促進	促進	完成	[水辺のびる天竜川]をめぐり、天竜川本川で水を浄化(きれい)にする施設の整備を行います。
⑲	赤坂砂防ダム改築	山室川	長野県	高遠町	着手完成			ダムに魚道を設置し、生態系にやさしい清流づくりを行います。
⑲	唐山沢砂防林	新宮川	長野県	駒ヶ根市	促進	平成9年から 10年以内完成		新宮川の荒廃河川対策として、樹木を活かした施設を整備します。
⑲	押出沢砂防林	(再掲)						土石流対策として樹木を活かした施設を整備し、福祉のまちづくりを支援します。
テーマ4 流域の文化交流を支援する川づくり								
⑲	水辺の拠点整備	(再掲)						
⑲	太田切流路工	太田切川	長野県	宮田村 駒ヶ根市	促進	促進	促進	土砂の泥らん防止を図るとともに、交流拠点づくりを支援します。
⑲	与田切流路工	与田切川	長野県	飯島町	促進	促進	促進	土砂の泥らん防止を図るとともに、交流拠点づくりを支援します。
⑲	片桐松川流路工	片桐松川	長野県	松川町	促進	促進	促進	土砂の泥らん防止を図るとともに、交流拠点づくりを支援します。
⑲	三峰川総合開発事業 美和ダム再開発事業 (ウェルネスダム構想)	(再掲)						

No	プロジェクト名	河川名	県名	市町村名	整備目標			概要
					9次五計	←→	21世紀初頭	
テーマ5 地域に開かれた川づくり								
36	情報ネットワーク整備	天竜川	長野県	美都川管理区域	着手	促進	完成	河川による施設の管理や災害状況の把握及び地域への情報提供に光ファイバ通信網の整備により実施しています。
37	河川美化など住民活動への支援の充実	天竜川流域			推進	推進	推進	河川を美しくする住民活動や河川美化・河川愛護活動を広めるイベントなどへの支援を充実します。
38	河川に関する啓蒙イベントなどへの支援の充実	天竜川流域			推進	推進	推進	「天竜川ゆめろーど」をはじめとする地域と地域のコミュニケーションを深めるイベントや、カヌーなど天竜川と親しむイベントなどへの支援を充実します。
39	懇話会・サミットなどの充実	天竜川流域			推進	推進	推進	地域のオピニオンリーダーや有識者などの方々から、川づくりに対するご意見やご提案をいただくための15の懇話会・サミットなどを今後さらに充実させ実施していきます。



①三日町頭首工改築事業(天竜川;長野県箕輪町)



②三峰川総合開発事業
戸草ダム建設事業
(三峰川;長野県長谷村)



⑧唐山沢砂防林(新宮川;長野県駒ヶ根市)



④三峰川サンクチュアリ創造事業
(三峰川;長野県伊那市・高遠町)



③水辺の拠点整備(天竜川;長野県駒ヶ根市・豊丘村・下條村・阿南町)

⑤与田切流路工(与田切川;長野県飯島町)

主要プロジェクト

天竜川下流(河川・ダム)静岡県・愛知県

No	プロジェクト名	河川名	県名	市町村名	整備目標			概要
					9次5計	←→	21世紀初期	
テーマ1 安心できる暮らしを支える川づくり								
①	住久間地区河内川改修	天竜川	静岡県	住久間町	完成			川幅を広げることで、洪水の氾らんを防ぎます。
②	本麻島地区改修	天竜川	静岡県	天竜市	完成			氾らん防止のための堤防の築造や漏水対策のための護岸を施工し、洪水に対する安全性を高めます。
③	天竜川防災施設整備	天竜川	静岡県	浜松市 浜北市 竜洋町 豊田町 豊岡市 豊岡村	着手	促進	完成	災害時の情報収集の迅速化及び復旧対策の指示の基地を整備します。
④	天竜川漏水対策	天竜川	静岡県	浜松市 浜北市 竜洋町 豊田町 豊岡市 豊岡村	着手	促進	完成	矢板及び護岸を施工することにより、堤防を強化し、安全性を向上します。
⑤	豊岡村南部改修	一箇清川	静岡県	豊岡村	促進	促進	完成	豊岡村南部の浸水被害を防止するため、川幅を広げたり、川底を掘り下げることで、災害に強い地域づくりをします。
⑥	若身地区改修	丸田川	静岡県	春野町	促進		平成27年から 30年以内完成	河川部で流れが堤防にあたる区間において、洪水の侵入を防ぐため、緊急堤防を整備します。
テーマ2 地域の活性化に寄与する川づくり								
⑦	中瀬地区無埋戻対策	天竜川	静岡県	浜北市	着手		平成27年から 33年以内完成	無埋戻地区の堤防を築造することにより、洪水を安全に流します。また、あわせて河床地利用を拡大します。
⑧	渡ヶ島地区無埋戻対策	天竜川	静岡県	天竜市	着手		平成27年から 33年以内完成	無埋戻地区の堤防を築造することにより、洪水を安全に流します。また、あわせて河床地利用を拡大します。
テーマ3 豊かな自然を育む川づくり								
⑨	天竜川右岸環境整備	天竜川	静岡県	浜北市	完成			河川への親しみや憩いの場を提供して、地域住民の生活に密着した快適なオープンスペースを確保するため、自転車道を整備します。
⑩	水辺の拠点整備	天竜川	静岡県	浜松市 天竜市 竜洋町 豊岡村 住久間町	着手	促進	完成	河川の自然環境を活かし、自然観察やレクリエーション活動ができる場の拠点を整備します。
⑪	新豊橋ダム湖環境整備	天竜川	愛知県	豊橋村	完成			貯水池周辺の安全対策と有効利用のための整備をし、ダム周辺の憩いの場を提供します。
テーマ5 地域に開かれた川づくり								
⑫	河川を美しくする住民活動への支援の充実	天竜川流域			推進	推進	推進	河川を美しくする住民活動や河川美化・河川愛護活動を広めるイベントなどへの支援を充実します。
⑬	河川に関する啓蒙イベントなどへの支援の充実	天竜川流域			推進	推進	推進	「天竜川ゆめの一と」をはじめとする地域と地域のコミュニケーションを深めるイベントや、カヌーなど天竜川と親しむイベントなどへの支援を充実します。
⑭	懇談会・サミットなどの充実	天竜川流域			推進	推進	推進	地域のオピニオンリーダーや有識者などの方々から、川づくりに対するご意見やご提案をいただくための15の懇談会・サミットなどを今後さらに充実させ実施していきます。

⑪は静岡県のプロジェクト



⑨天竜川右岸環境整備(静岡県浜松市・浜北市)



①新豊根ダム湖環境整備(愛知県北設楽郡豊根村)



静岡県



②北鹿島地区改修(静岡県天竜市北鹿島)



④天竜川漏水対策(静岡県浜松市・浜北市・竜洋町・豊田町・磐田市・豊岡村)

主要プロジェクト

長野県

No	プロジェクト名	河川名	県名	市町村名	整備目標			概要
					9次五計	←→	21世紀計画	
テーマ1 安心できる暮らしを支える川づくり								
①	中小河川改修	天竜川	長野県	諏訪市 岡谷市 長野町	完成			諏訪湖にある崖口水門からの放流量400m ³ /secに合わせた洪水が流れるよう、堤防の整備や橋梁、堰などの改築を行います。
②	小規模河川改修	久米川	長野県	飯田市	完成			建設省、長野県、飯田市、中部電力の四者で行う河路・龍江・電丘地区治水対策事業の一環として、久米川において堤防の整備を進めます。
③	黒川河川改修	天竜川 (黒の沢川)	長野県	伊藤市	促進	平成9年から 10年以内完成		渾身の沢川の洪水が天竜川に安全に流れるよう、建設者と協同して堤防の整備を進めます。
④	碓氷川総合開発事業 (下諏訪ダム)	碓氷川	長野県	下諏訪町	促進	平成9年から 10年以内完成		碓氷川の水害被害防止と岡谷市・下諏訪町への水道用水の供給を目的とした多目的ダムです。
⑤	芦原川総合開発事業 (郷土沢ダム)	郷土沢川	長野県	豊丘村	促進	平成9年から 10年以内完成		芦原川の水害対策と豊丘村への水道用水の供給を目的とした小規模生活ダム(地域に密着した小河川における围まれた地域の治水・利水を目的としたダム)です。
⑥	駒沢川総合開発事業 (駒沢ダム)	駒沢川	長野県	辰野町	促進	平成9年から 10年以内完成		駒沢川の水害対策と辰野町への水道用水の供給を目的とした小規模生活ダム(地域に密着した小河川における围まれた地域の治水・利水を目的としたダム)です。
⑦	蓼科治水ダム建設事業 (蓼科ダム)	上川	長野県	茅野市	促進	平成9年から 10年以内完成		上川の水害対策と流域の開発に伴う雨水放出増対策を目的とした治水ダムです。
⑧	松川ダム再開発事業	松川	長野県	飯田市	促進	平成9年から 10年以内完成		昭和49年に完成した松川ダムは堆砂量が多いためバイパスを設置して堆砂量の軽減を図り、ダムの機能を回復します。
⑨	角間新田砂防ダム流路工	角間川	長野県	諏訪市	完成			土石流危険渓流に対し地域の安全を確保する施設整備を行います。また、工事残土を再利用した地域計画に配慮した安全な地盤の創設計画(セルフチェック・ユニティプラン)に基づき地域整備に寄与する事業です。
⑩	桂小嶋砂防ダム	小嵐川	長野県	伊藤市	促進	平成9年から 10年以内完成		土石流危険渓流に対し地域の安全を確保するために大型砂防ダムを整備します。またダム形式は、急流の上や深流の連続性に配慮したリズリット形です。
⑪	門原橋上砂防ダム流路工	門原川	長野県	阿南町	促進	平成9年から 10年以内完成		土石流危険渓流に対し地域の安全を確保する施設整備を行います。また、阿南町の「ゆづりうらんど阿南」と一体的な整備を行います。
⑫	あらかぎ砂防ダム	恩田川	長野県	浪合村	促進	促進	完成	土石流危険渓流に対し地域の安全を確保する施設整備を行います。また、深流の環境に配慮し、砂防林として高木樹木を植すなどの工法を採用しています。
⑬	湧民地すべり	湧沢地区	長野県	南信濃村	概成			平均傾斜35度の急峻な山間地の人家及び耕地を保全するため、地すべり対策工法を実施していきます。
テーマ3 豊かな自然を育む川づくり								
⑭	河川再生	諏訪湖	長野県	諏訪市 岡谷市 下諏訪町	促進	平成9年から 10年以内完成		昭和36年当時の風情ある諏訪湖を原風景として、うるおいのある湖畔環境の再生と創出を行います。
⑮	河川浄化	諏訪湖	長野県	諏訪市 岡谷市 下諏訪町	促進	促進	促進	諏訪湖と天竜川の水質浄化を目的に、底泥のしゅんせつを実施していきます。
テーマ5 地域に開かれた川づくり								
⑯	河川美化など住民活動への支援の充実	天竜川流域			推進	推進	推進	河川を美しくする住民活動や河川美化・河川愛護活動を広めるイベントなどへの支援を充実します。
⑰	河川に関する啓発イベントなどへの支援の充実	天竜川流域			推進	推進	推進	「天竜川ゆめの一と」をはじめとする地域と地域のコミュニケーションを深めるイベントや、カヌーなど天竜川と親しむイベントなどへの支援を充実します。
⑱	懇話会・サミットなどの充実	天竜川流域			推進	推進	推進	地域のオピニオンリーダーや有識者などの方々から、川づくりに対するご意見やご提案をいただくための15の懇話会・サミットなどを今後さらに充実させ実施していきます。



⑪門原橋上砂防ダム・流路工(門原川;長野県下伊那郡阿南町門原橋上)



①中小河川改修(天竜川;長野県諏訪市・岡谷市・碓野町)



④紙川総合開発事業“下諏訪ダム”
(東俣川;長野県諏訪郡下諏訪町東俣)



⑨角間新田砂防ダム・流路工
(角間川;長野県諏訪市角間新田)



⑭河川再生(諏訪湖;長野県諏訪市・岡谷市・下諏訪町)



⑦蓼科治水ダム建設事業“蓼科ダム”(上川;長野県茅野市豊平)